

証券コード 6379

レイズネクスト株式会社 決算説明会資料

2024年3月期 第2四半期

レイズネクスト株式会社

目 次

1. 2024年3月期第2四半期決算	・ ・ ・	3	2. 2024年3月期業績見通し	・ ・ ・	15
1) 事業内容	・ ・ ・	4	1) 業績見通し	・ ・ ・	16
2) 事業環境	・ ・ ・	5	2) 受注高	・ ・ ・	17
3) 事業環境の変化に対応した 当社の取り組み	・ ・ ・	6	3) 完成工事高	・ ・ ・	18
4) 業績概要	・ ・ ・	8	3. 配当	・ ・ ・	19
5) 受注高	・ ・ ・	9	1) 2024年3月期配当予想	・ ・ ・	20
6) 完成工事高	・ ・ ・	10	4. 企業価値向上への取り組み	・ ・ ・	21
7) 完成工事総利益・営業利益	・ ・ ・	11	1) 資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応	・ ・ ・	22
8) 当期純利益	・ ・ ・	12	2) サステナビリティ経営の推進	・ ・ ・	23
9) 受注残高	・ ・ ・	13			
10) 貸借対照表	・ ・ ・	14			

1. 2024年3月期第2四半期決算

1) 事業内容

- ▶ 国内各地に多くの拠点を構え、様々な業界のプラントに対して、メンテナンスとエンジニアリングを提供

メンテナンス



エンジニアリング



石油



石油化学



一般化学



医薬品



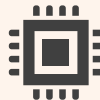
ガス



電力



製鉄



非鉄金属



食品



製紙

2) 事業環境

➤ 2020年10月、政府が「2050年カーボンニュートラル宣言」を発表

● 石油業界

石油製品の需要減少により製油所の統廃合（閉鎖）が進行

⇒ 製油所を太陽光発電所/SAF等の再生可能エネルギー製造工場や合成燃料等の低炭素燃料製造拠点へ機能転換 … 新たなプラント建設需要の発生

● 電力業界

脱炭素に向け新たにアンモニア混焼、水素発電設備の導入

⇒ 設備改造や発電所へのアンモニア/水素の供給インフラの建設需要の増加

● 一般化学、非鉄金属業界

脱炭素社会実現に向けた半導体製造に関する高機能材や電子材料の需要が旺盛

⇒ 新たな化学プラントや電子材料工場建設需要が増加



当社の対応

事業環境の変化に対し、新たな取り組みを開始

3) 事業環境の変化に対応した当社の取り組み

■ 閉鎖製油所の将来計画への参画

閉鎖製油所の基盤整備工事（無害化工事/設備撤去工事）の受注および将来計画への参画

製油所閉鎖は、当社の新たなビジネスチャンス

- ・ 製油所設備の無害化工事・・・装置／配管／タンク内に残存する危険物の除去・清掃
- ・ 設備撤去工事・・・設備の撤去および更地化
- ・ 将来計画への参画・・・将来計画に基づいたFS検討～建設工事までの対応・受注へ



3) 事業環境の変化に対応した当社の取り組み

■ カーボンニュートラル社会への対応

当社の強みである太陽光発電所に加え、その他カーボンニュートラル案件も積極的な受注を目指す

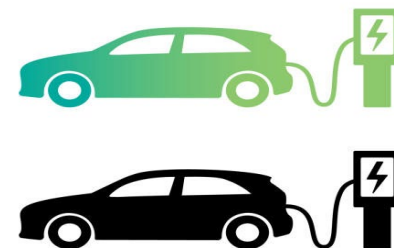
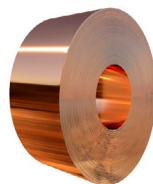
- ・ 太陽光発電所 → 39案件施工完了（累計約267MW）
1件施工中（合計約22MW）
- ・ 福島県浪江町グリーンアンモニア製造実証施設の建設工事受注



■ 半導体に関わる高機能製品製造プラントへの対応

半導体製造に関わる化学品製造プラントや電子材料製造工場の積極的な受注

- ・ 新半導体工場向けの高機能化学品製造プラント建設工事
- ・ 新規電子材料工場建設工事
- ・ 各種電子材料のリサイクル設備建設工事



4) 業績概要

- 第2四半期決算の受注高、完成工事高および各利益は、期初予想を下回るものの、通期予想には影響なし

(参考) (単位：億円)

	第2四半期			
	期初予想	2023.09	増減	増減率
受 注 高	730	670	-60	-8.2%
完 成 工 事 高	765	702	-63	-8.2%
完 成 工 事 総 利 益	102.0	78.5	-23.5	-23.0%
(率)	13.3%	11.2%	-2.1%	—
営 業 利 益	63.0	41.9	-21.1	-33.5%
(率)	8.2%	6.0%	-2.2%	—
経 常 利 益	64.0	43.6	-20.3	-31.8%
(率)	8.4%	6.2%	-2.2%	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	43.0	28.6	-14.4	-33.3%
(率)	5.6%	4.1%	-1.5%	—

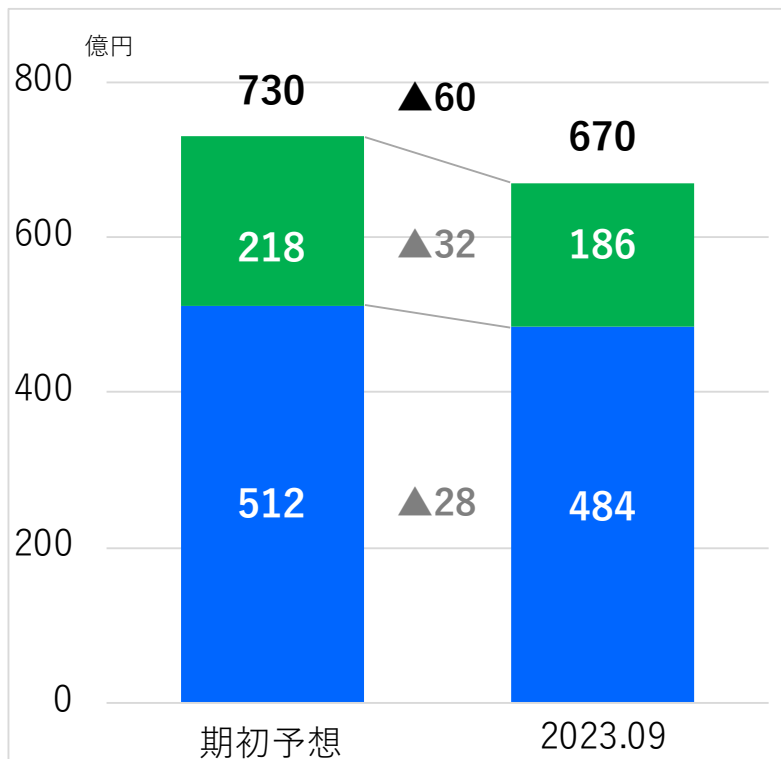
通期予想 (変更なし)
1,410
1,410
181.0
12.8%
103.0
7.3%
106.0
7.5%
71.0
5.0%

前期 (2022.09) との差異		
	前期比	増減率
675	-5	-0.8%
687	+14	+2.1%
90.5	-11.0	-13.2%
13.2%	-2.0%	—
54.9	-13.0	-23.8%
8.0%	-2.0%	—
57.2	-13.0	-23.7%
8.3%	-2.1%	—
39.6	-10.0	-27.7%
5.8%	-1.7%	—

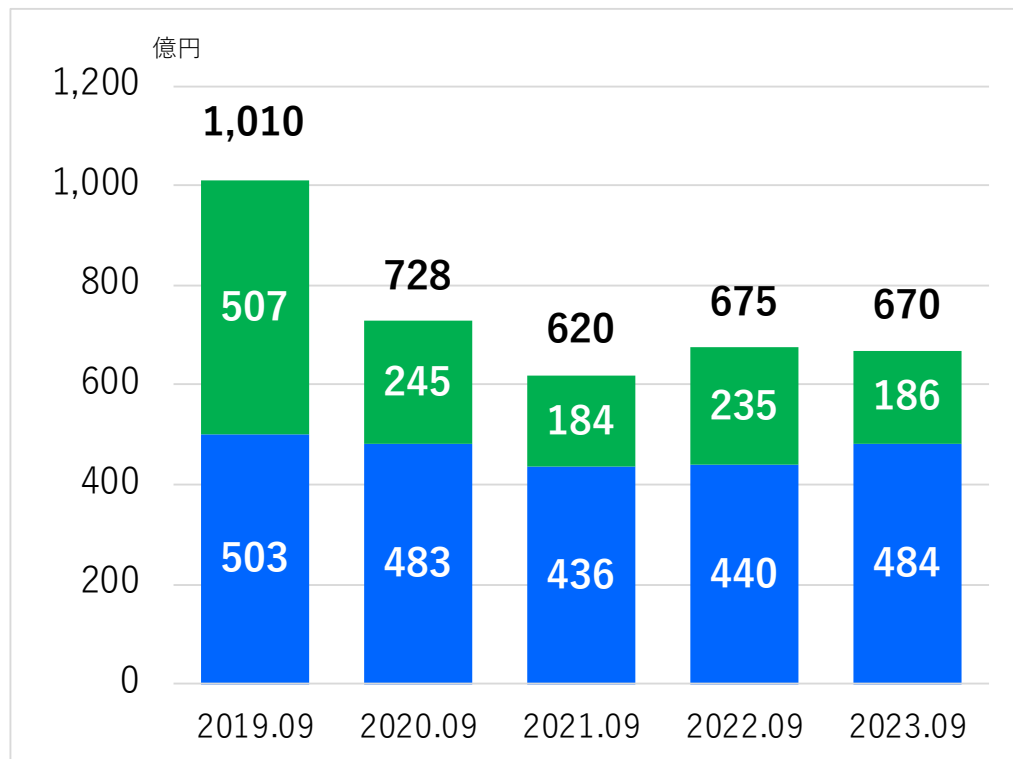
5) 受注高

- メンテナンス、エンジニアリングともに契約時期が想定より遅れたことなどにより期初予想を下回るものの、通期予想には影響なし
- 全体としては、前年同期並みの受注高を確保

期初予想対比



5カ年推移



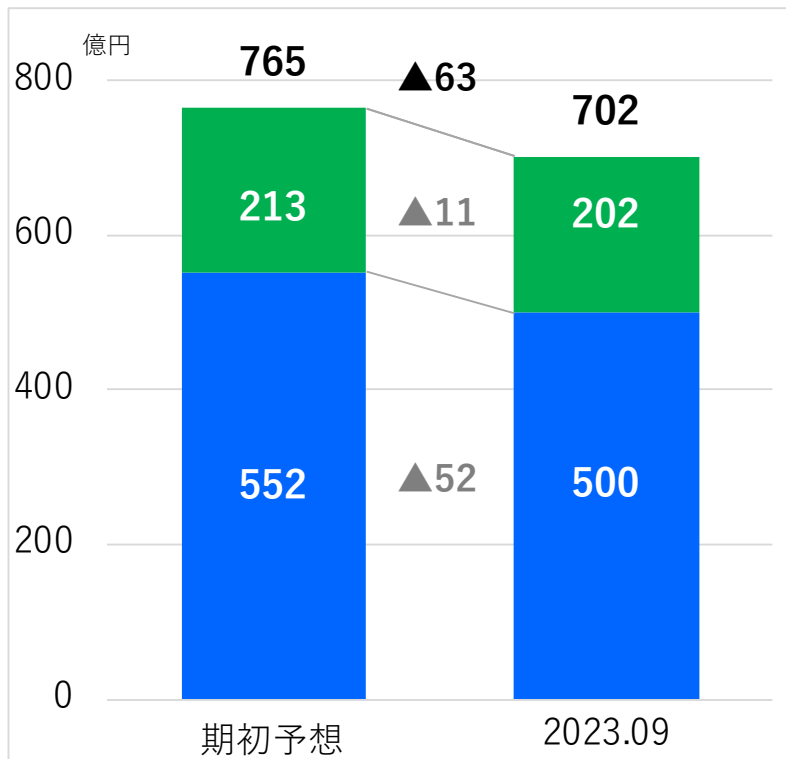
■ メンテナンス ■ エンジニアリング

注) 2019年9月期の受注高は、旧JXエンジニアリングの2019年6月末の受注残高をレイズネクストの受注高として7月1日に受け入れたものを含む。

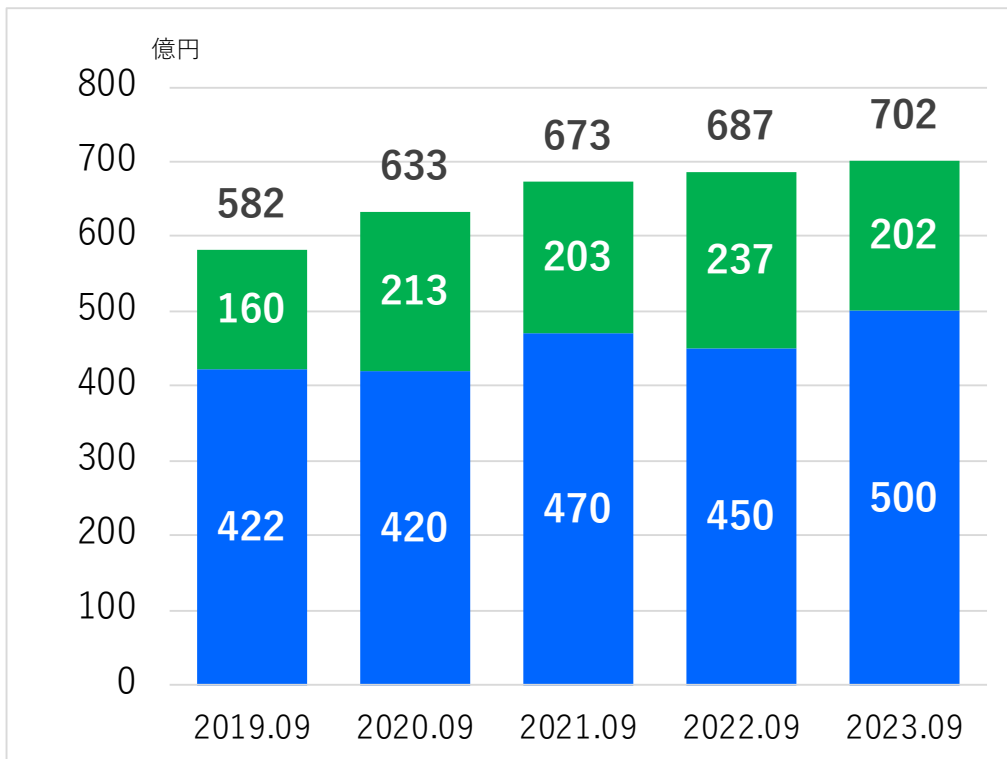
6) 完成工事高

- メンテナンスで、大型の定期修理工事の売上計上時期が第3四半期以降となったことなどにより期初予想を下回るものの、通期予想には影響なし
- 全体としては、前年同期以上の完成工事高を確保

期初予想対比



5カ年推移

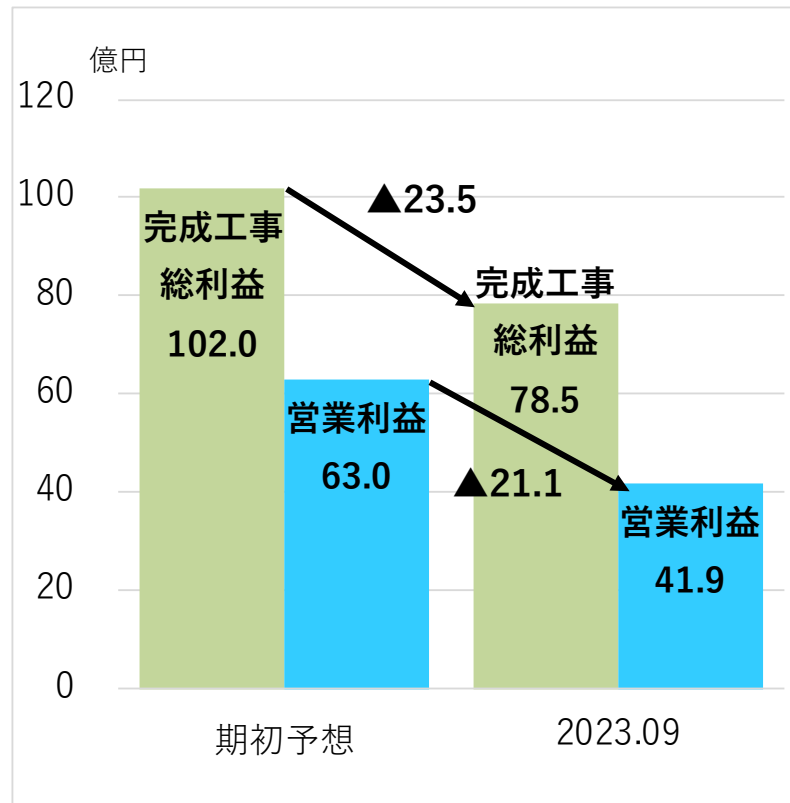


■ メンテナンス ■ エンジニアリング

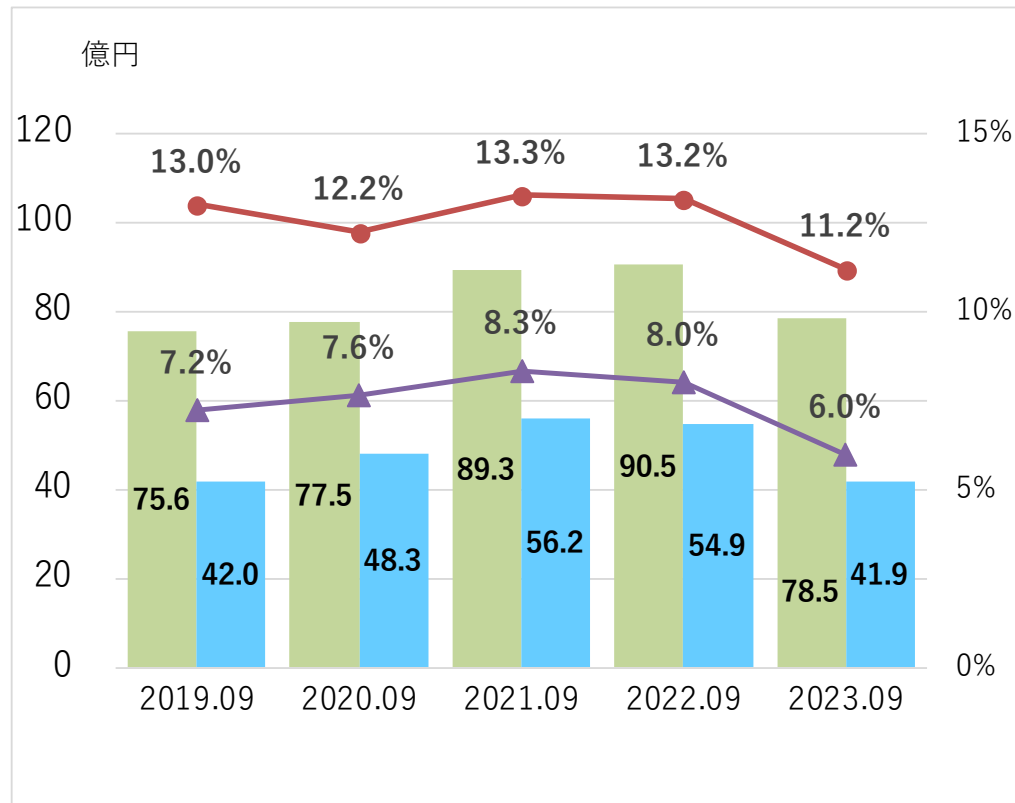
7) 完成工事総利益・営業利益

- 大型の定期修理工事の売上計上時期が第3四半期以降となったことにより、完成工事総利益・営業利益が予想を下回るものの通期予想には影響なし

期初予想対比



5力年推移

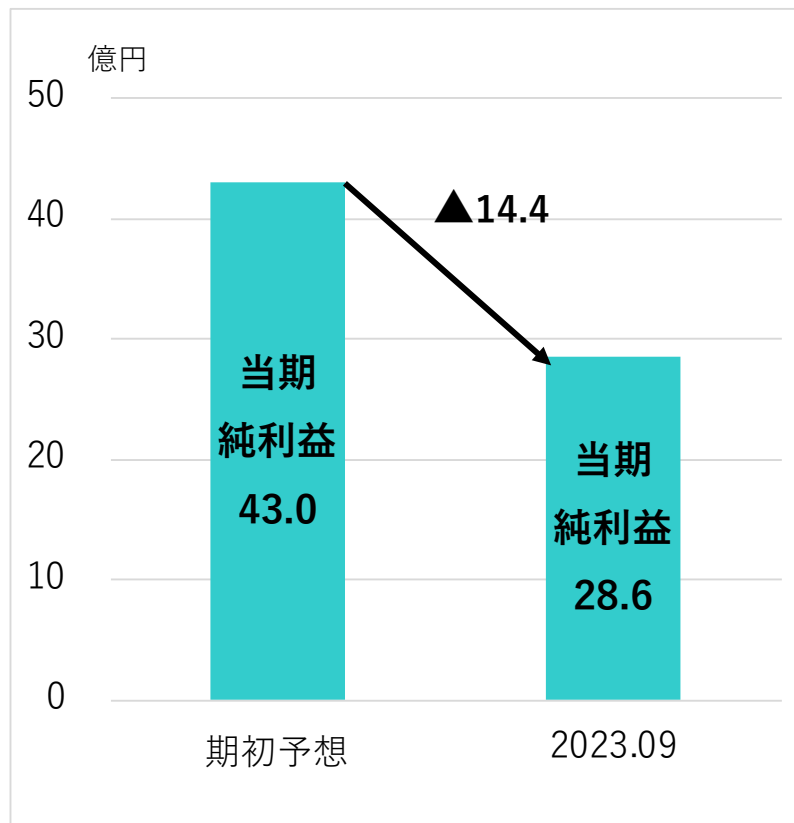


■ 完成工事総利益 ■ 営業利益 ● 完成工事総利益率 ▲ 営業利益率

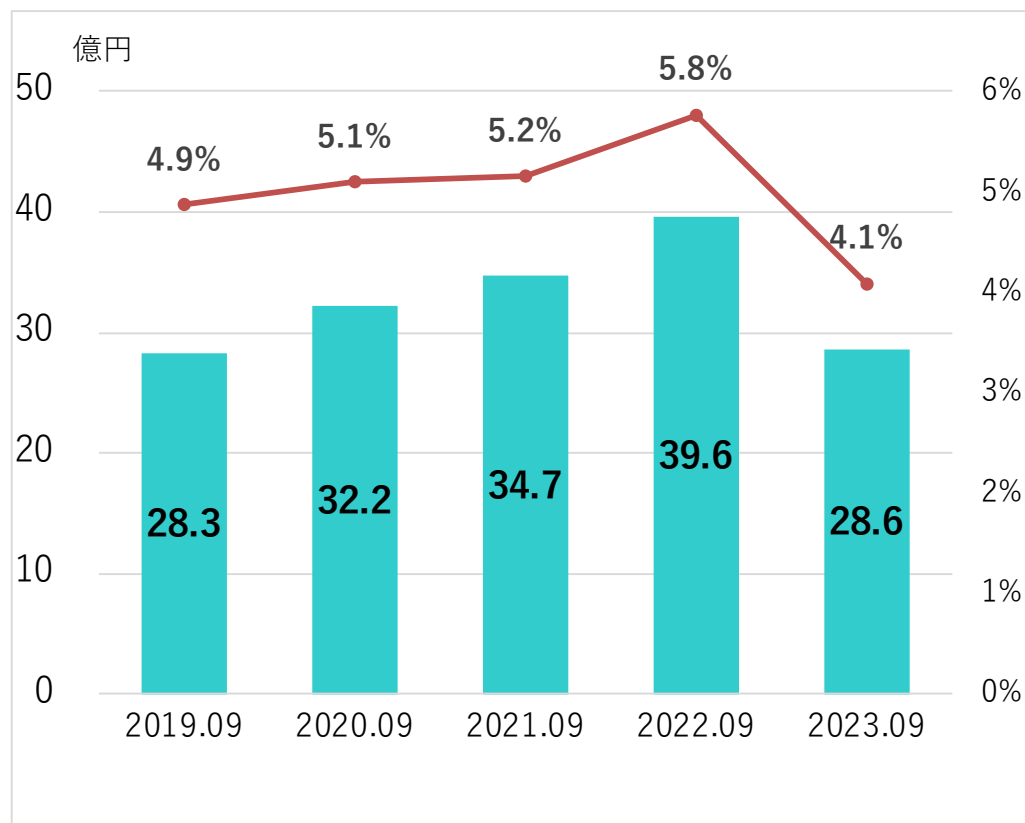
8) 当期純利益

➤ 完成工事総利益の減少により、当期純利益は予想を下回るものの通期予想には影響なし

期初予想対比



5力年推移



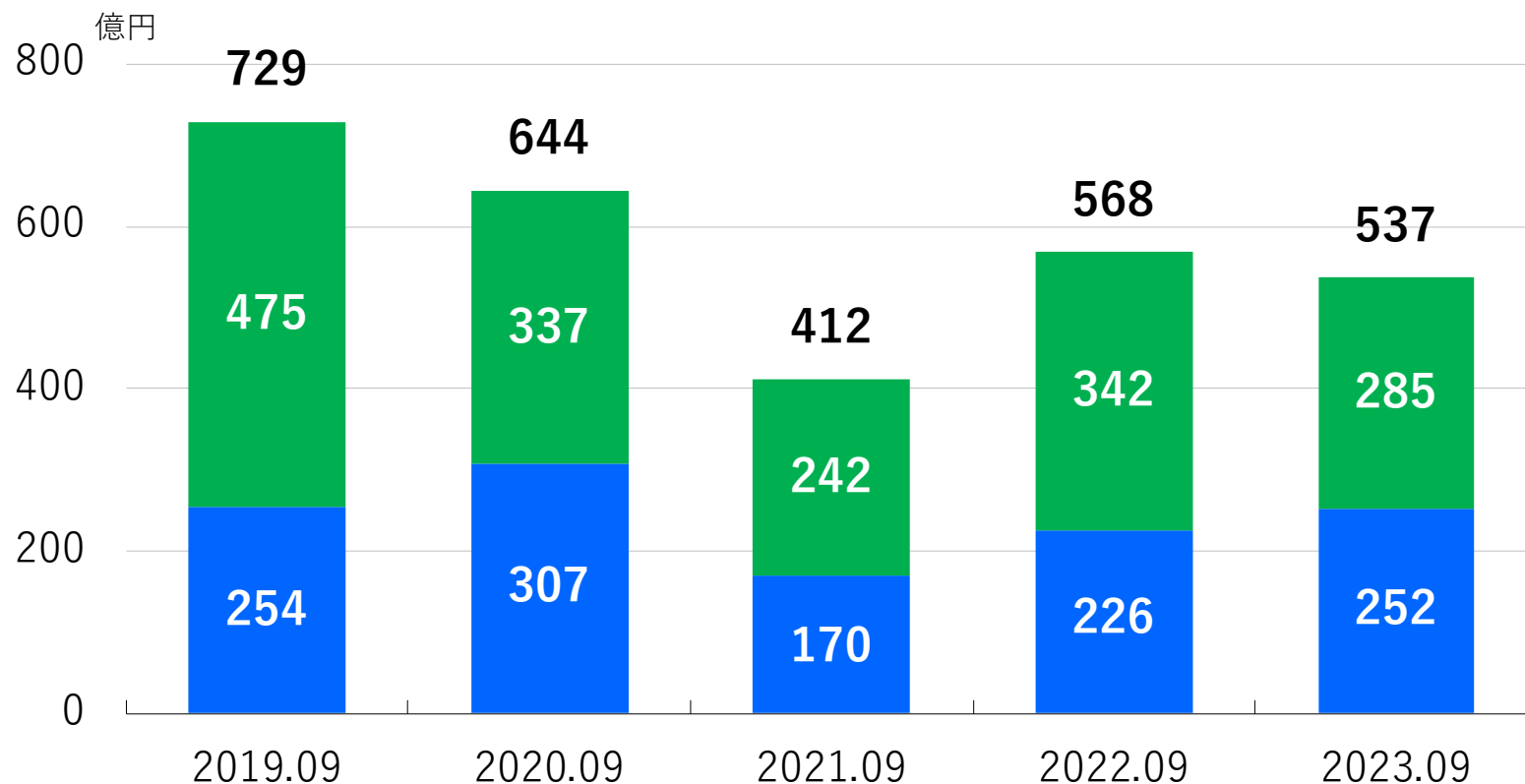
■ 当期純利益 ● 当期純利益率

注) 上図のグラフの2019.09の数値は負ののれん発生益(55億円)を除いた当期純利益である。

9) 受注残高

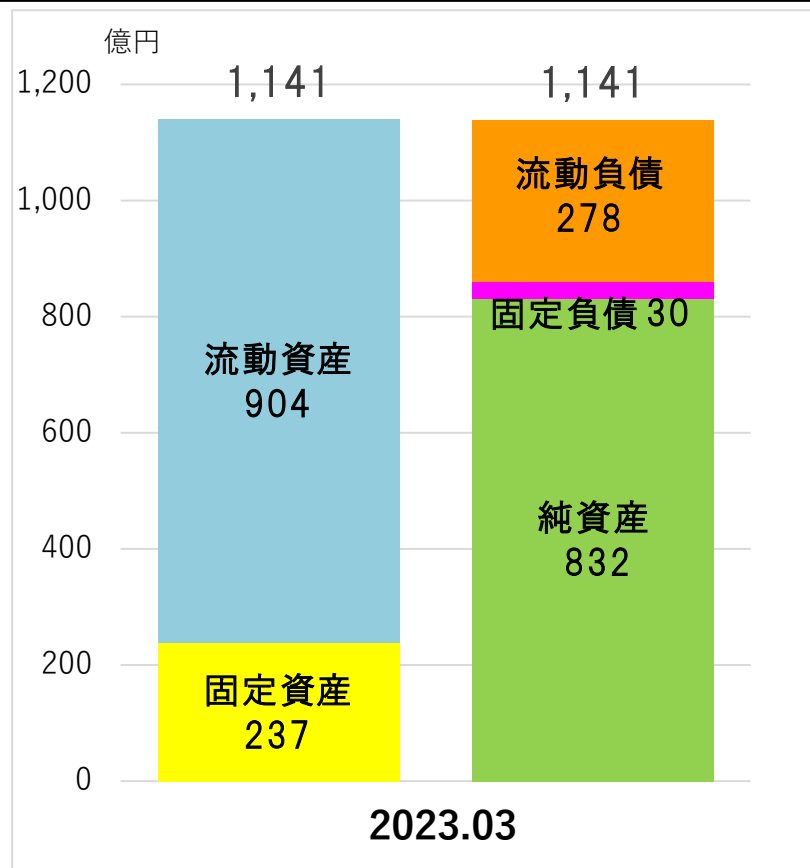
➤ メンテナンスは前期比で増加、エンジニアリングは前期比で減少

■ メンテナンス ■ エンジニアリング

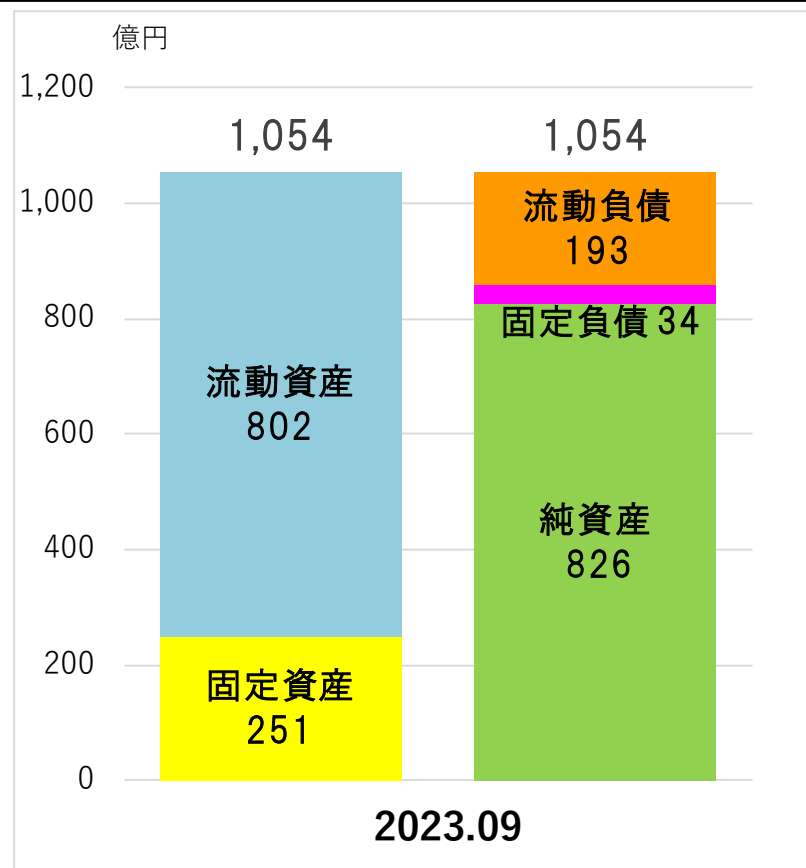


10) 貸借対照表

- 資産の部 . . . 流動資産で配当支払いや税金納付などにより現預金等が減少
- 負債の部 . . . 流動負債で工事未払金等が減少
- 純資産の部 . . . 大きな変動なし
- 自己資本比率は77.6%



自己資本比率 : 72.2%



自己資本比率 : 77.6%

2. 2024年3月期業績見通し

1) 業績見通し

➤ 受注高、完成工事高および各利益は期初予想より変更なし

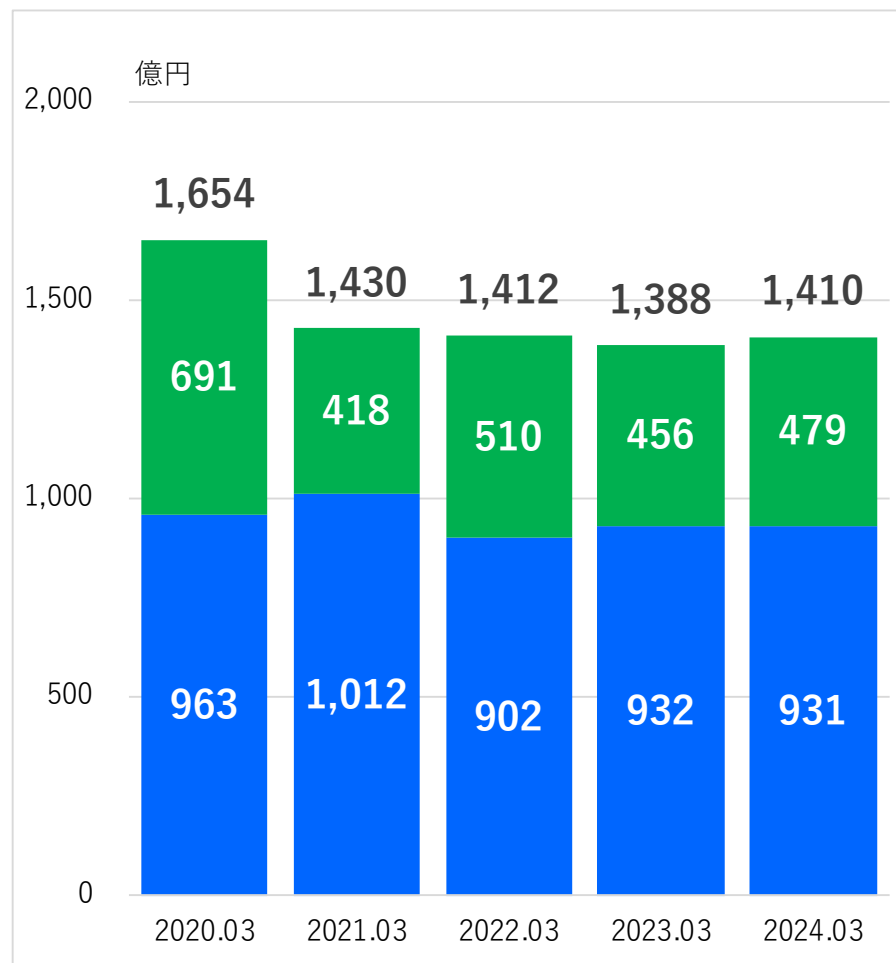
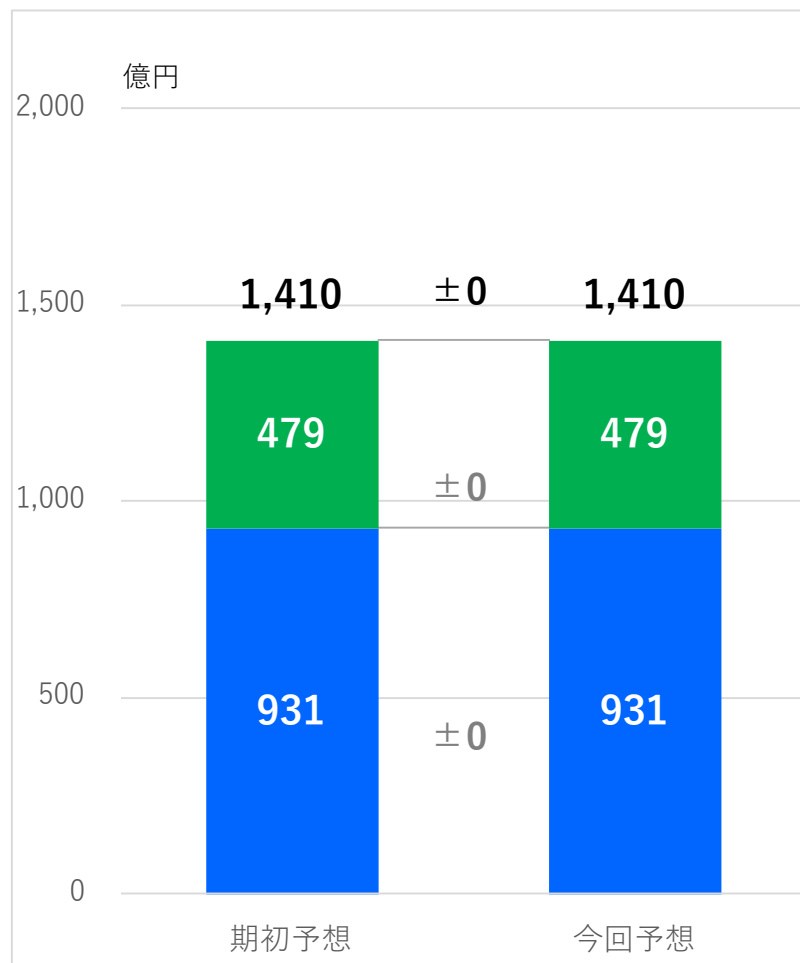
(単位：億円)

	通 期				
	期初予想	今回予想		増減	増減率
		第2四半期 実績	通期予想		
受 注 高	1,410	670	1,410	+0	+0.0%
完 成 工 事 高	1,410	702	1,410	+0	+0.0%
完成工事総利益	181.0	78.5	181.0	+0.0	+0.0%
(率)	12.8%	11.2%	12.8%	+0.0%	—
営 業 利 益	103.0	41.9	103.0	+0.0	+0.0%
(率)	7.3%	6.0%	7.3%	+0.0%	—
経 常 利 益	106.0	43.6	106.0	+0.0	+0.0%
(率)	7.5%	6.2%	7.5%	+0.0%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	71.0	28.6	71.0	+0.0	+0.0%
(率)	5.0%	4.1%	5.0%	+0.0%	—
1株当り当期純利益	131.09円	53.02円	131.09円	+0.00円	+0.0%
受 注 残 高	561	538	561	+0	+0.0%

2) 受注高

➤ メンテナンス、エンジニアリングともに期初予想と変更なし

■ メンテナンス ■ エンジニアリング

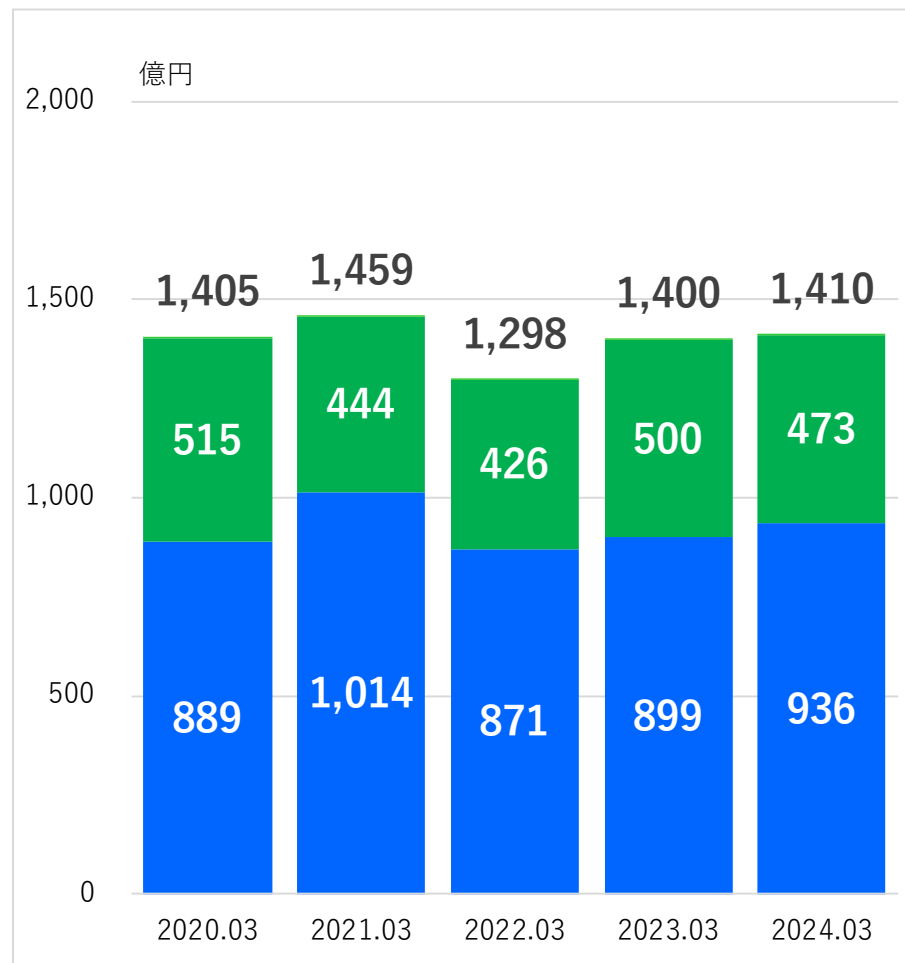
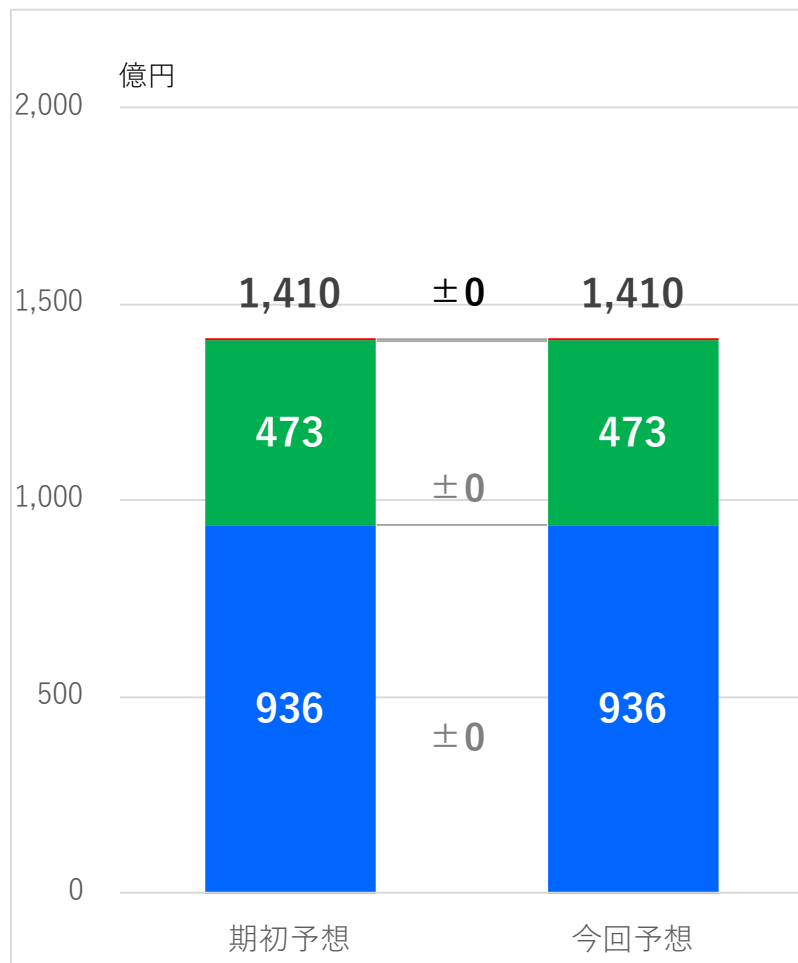


注) 2024.03の数値は予想値となっております。

3) 完成工事高

➤ メンテナンス、エンジニアリングともに期初予想と変更なし

■ メンテナンス ■ エンジニアリング

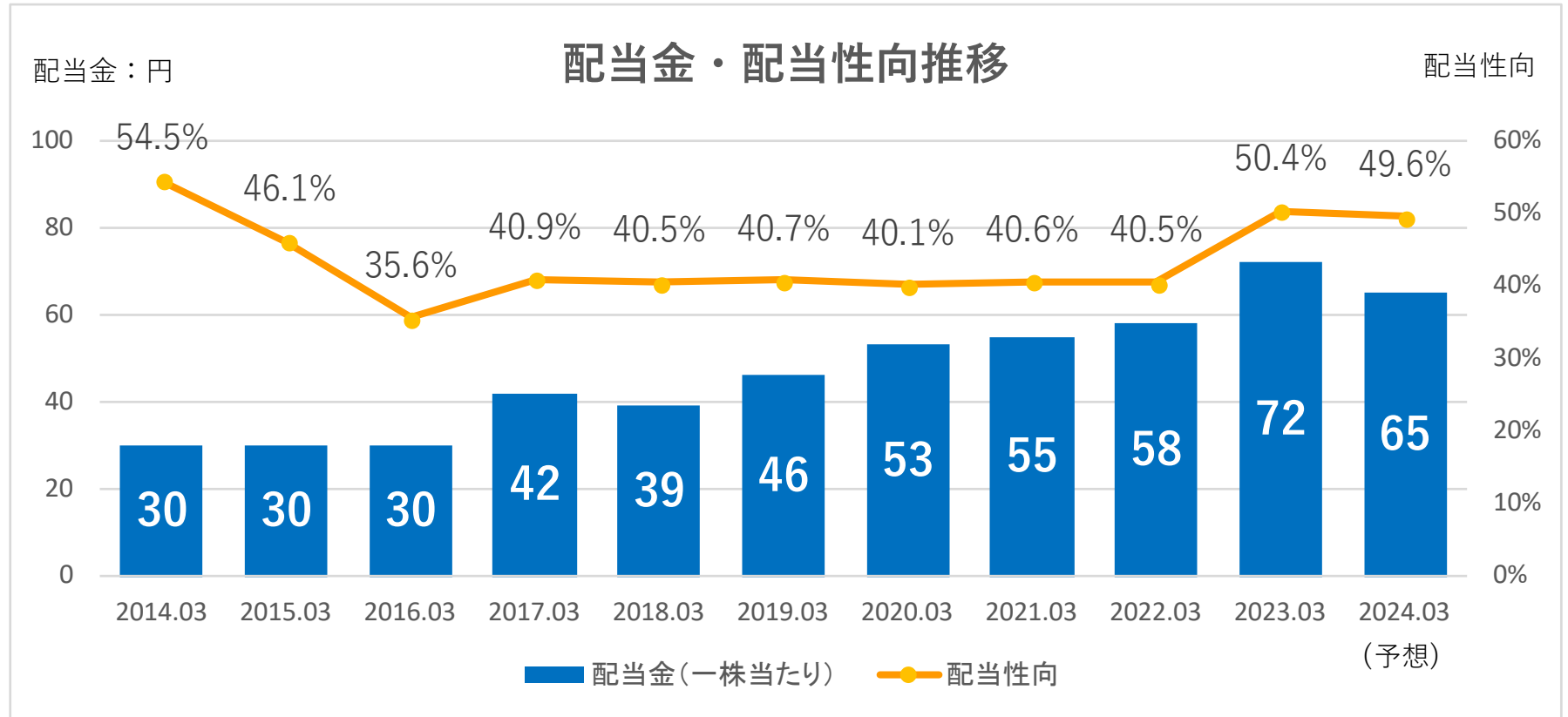


注) 2024.03の数値は予想値となっております。

3. 配当

1) 2024年3月期配当予想

- 年間配当 65円 (連結配当性向 49.6%)
- 中間配当 30円、期末配当 35円の予想 (期初発表から変更なし)

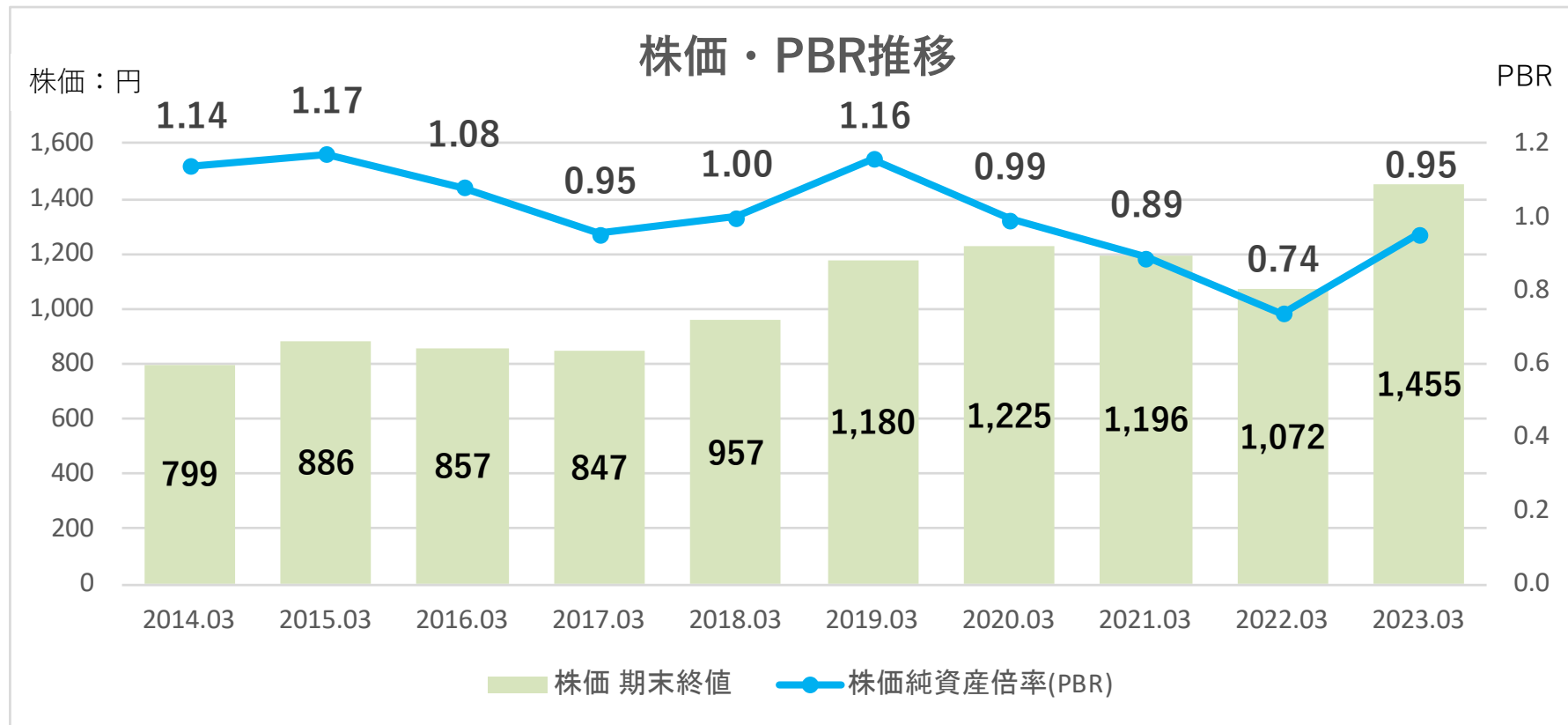


注) 上図のグラフの2020.03の数値は負ののれん発生益(55億円)を除いて算出している。

4. 企業価値向上への取り組み

1) 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

- 最近のPBRは1倍前後で推移し、直近では0.93（10月31日現在）
- 東証からの要請「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」は、資本効率の向上等にかかる施策を検討中



2) サステナビリティ経営の推進

- 当社はサステナビリティ経営を積極的に推進しており、その一環として、ESG関連データを公開

環境

GHG排出量 (Scope1 & 2)

7,488t-CO2

2030年度までに30%削減
(2021年度比)

当社施工の再生可能エネルギー設備の累積発電容量

258MW

社会

年次休暇取得率

81.3%

育児休業取得率

男性**64%** / 女性**100%**

平均残業時間

16.9時間/月

従業員一人当たりの
教育研修費用

135千円

ガバナンス

取締役人数

10名

取締役10名の内訳



社外 4名 (女性 2名)

※当社Webサイトに掲載

この資料には、2023年11月16日現在の将来に関する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。
経済情勢の変動などに伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

レイズネクスト株式会社

〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-8

経営企画部 業績・IRグループ

TEL：045-415-1500／FAX：045-415-1120

E-MAIL：ir-info@raiznext.co.jp

URL：https://www.raiznext.co.jp



レイズネクスト株式会社